

## 整形外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究にかんする倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

また、対象となる患者さんで研究参加を拒否したいと思われた方も、以下の「問い合わせ先」までご連絡下さい。その際には、研究の対象とはしないように致します。

[ 研究課題名 ] 四肢遊離皮弁における主幹動静脈への端側吻合を基本とした治療計画の簡便化

[ 研究機関 ] 帯広厚生病院整形外科

[ 研究責任者 ] 本宮真（帯広厚生病院整形外科手外科センター長）

[ 研究の目的 ] 重度四肢外傷による軟部組織欠損に対して、当科では良好な四肢の機能の温存を目指して積極的に遊離皮弁を用いた再建を行っています。遊離皮弁は吻合する血管のトラブルにより皮弁の血行が障害されると皮弁が壊死してしまうために、健常な部位のレシピエント血管に皮弁の血管を吻合する必要があります。損傷された血管の断端が遊離皮弁に使用できるかどうかは術中に直接確認して判断する必要があるため、当科では損傷を受けていない主幹動脈と静脈を最初からレシピエント血管として選定し、端側吻合を用いて遊離皮弁を行う治療方法を採用しております。過去の手術の成績において、新しい治療方法を導入する前と後で成績を比較検討し、より安全に遊離皮弁を可能とする方法を策定していきたいと考えております。

[ 研究の方法 ]

●対象となる患者さん：2015年4月から2019年9月までに当院整形外科にて、四肢軟部組織欠損に対して遊離皮弁を受けた患者様。

●利用するカルテ情報

- ①年齢、性別、病歴情報
- ②皮弁の情報
- ③手術の内容
- ④皮弁の成績と合併症

[ 個人情報の取り扱い ]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌等で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[ 問い合わせ先 ]

北海道帯広市西14条南10丁目1番地  
JA北海道厚生連 帯広厚生病院  
整形外科 担当医師 本宮真  
電話 0155-65-0101